



## デング熱からの癒しとその後の祝福

いつも尊いお祈りとご支援をいただき感謝申し上げます。新年度を迎えられた日本の皆さまにあっては、いかがお過ごしでしょうか。

ここブラジリアは秋を迎え、道端にはカキを売る人々、近所の桑の木には黒い小粒の桑の実が生り始めています。

実は、過ぎし2月の半ばに、私は「デング熱」にかかり5日ほど入院していました。蚊を媒介とする感染症で、重症化すると危険な病気ですが、私の場合、血中の血小板の減少が見られ「デング出血熱」の恐れがあったので、集中治療室での治療が4日ほど続きました。妻をはじめ多くの方々のとりなしによって退院・回復できたことは本当に主の恵みでした。改めて感謝いたします。今は食欲も体力も戻り、青年たちとサッカーをするまでになっています。

3月には定例のヴァルゼンボニータでの書道教室と礼拝が持たれました。書道教室には20名が集いましたが、東日本大震災から12年を迎える東北の被災地を覚えて、遠いブラジルから黙祷を捧げ、「命」のひと文字を書きました。



ヴァルゼンボニータの礼拝では、受難節(レント)の中で主の十字架を覚えるメッセージをいたしました。私たちにあって、あの2000年前の主イエスの十字架はどんな意味があるのかを思い巡らしました。そして、パウロの告白の通り「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです」(ガラテヤ2:19-20)と語ることができ自らの幸い、恵みを分かち合いました。

幸いなことに、礼拝後の交わりの中で2名の方が洗礼を受けたいとの思いを表明されました。いずれもヴァルゼンボニータ在住の方で、主はこの地から「初穂」となる実を用意してくださっているとの確信を新たにしました。

主は私たちの祈りを聞いておられ、この地を祝福しようとご計画を進めておられます。いつも背後でとりなしご支援くださっている日本の諸教会のみなさまの祈りの結実でもあると思います。

さらに私たちの集會が導かれ、集う一人ひとりが「神が

確かにあなたがたの中におられる」(1コリント14:25)との告白に導かれ、まことの主の前にひれ伏し、礼拝する者へと変えられていくようにお祈りください。



←高齢者の集い「キラキラ会」での体操

吉田ペドロしんじ君の誕生日会→



## 近況と祈りのお願い

- ・ブラジリア アライアンス キリスト宣教教会の牧師館と食堂の改築工事が最善に進むように。日本語学校の生徒たちが信仰に導かれるように。キラキラ会に集う高齢者の健康と信仰のために。

- ・ヴァルゼンボニータの開拓/各地の訪問伝道洗礼の願いが起こされた兄弟姉妹の信仰が導かれるように。この地にふさわしい礼拝の形と会堂が備えられるように。

- ・家族の健康と働き・学業のために4人の子どもたちが心身ともに健全に成長するように。三男の洗礼準備、四男の療育のために。

## 2023年1-3月 献金のご報告と感謝

(2023. 1-3月分)

指定献金: 433,600 円

現地支援: 195,000 円

合計: 628,600 円

## 2023年 献金目標額: 410万円

(「浜田宣教師指定」310万円+現地支援100万円)

\*尊いおさげものを心から感謝申し上げます。ブラジルもインフレと円安リアル高の影響で厳しい状況が続いていますが、全能の主に信頼し、宣教のみわざに励んで参りたいと思っています。引き続き、とりなしをお願い申し上げます。

●オンラインでの説教奉仕や宣教報告も随時受け付けています。「12時間」の時差があるので日曜朝の礼拝奉仕も可能です。以下のメールからお気軽にお問い合わせください。